

第 14 回 HLA-QC ワークショップのご案内

日本組織適合性学会

認定制度委員会 委員長 田中秀則

QC ワークショップ部会長 田中秀則

2010 年度 QC ワークショップ(第 14 回 QCWS)を開催致しますので、下記の通り案内致します。これまでと同様、DNA タイピング QC (DNA-QC)と抗体検査 QC (抗体 QC)を実施します。別紙の QCWS 概要説明書をよく読んで上で、参加申込書と同意誓約書を提出していただきますが、同意誓約書の提出がない場合には QC サンプルを送付出来ませんのでご注意ください。

記

1. スケジュール(すべて予定ですので、今後変更があり得ます)

平成 22 年 3 月 12 日	参加申し込み締め切り
平成 22 年 4 月 6～8 日	DNA サンプル、抗体サンプル配布(原則として、ラボ単位で配布)
平成 22 年 5 月下旬	データ提出締め切り(原則として、電子媒体による)
平成 22 年 6 月～8 月	データ解析
平成 22 年 8 月 30 日	解析結果公表(原則として、QCWS 部会 HP による)

2. QC ワークショップ集会

場 所:第 19 回日本組織適合性学会(東京, 東京大学医学部教育研究棟)

日 時:平成 22 年 9 月 19 日(日)を予定しています。

3. 参加費

- 認定制度との関連で、参加は原則として個人を対象とします。
- QC ワークショップにかかる資料代等の実費として、一名 1,000 円を申し受けます。
- 参加費用は、何れの参加方法(DNA-QC のみ、抗体 QC のみ、DNA・抗体 QC 両方、集会のみ)においても一律 1,000 円となります。

4. 参加申し込み

- QC ワークショップ部会専用 HP (<http://jshi.umin.ac.jp/qcws/index.html>)から参加申込書および同意誓約書をダウンロードし記入する。
(HP から参加申込書等がダウンロード出来ない場合、本誌の申込書を FAX でお送り下さい。)
- 参加申込書は E メール添付で、同意誓約書は FAX または郵送で QC ワークショップ部会事務局まで送付ください。(QCWS 集会だけの参加者は、参加申込書のみの送付で結構です)
- 参加費の払い込みをもって参加申し込み完了と致します。
- 参加費振込は、以下の口座に振込んでください。原則として、振込の控えをもって領収書とさせていただきます。集会のみの参加の場合も同様です。参加申し込み(参加費払い込み)の期限は、平成 22 年 3 月 12 日(金)とします。

5. 振込口座

郵便振替口座 00160-7-482142

組織適合技術者認定制度委員会

振替用紙の通信欄に、「第 14 回 QCWS 参加費」および参加者氏名を必ず記載してください。

第 14 回 HLA-QC ワークショップ参加申込書

(QC ワークショップ集会のみ参加する場合も、同様に申し込んでください)

参加申し込み締め切り(参加費払い込みを含む)は平成 22 年 3 月 12 日(金)です。

参加申込書は、必ず電子メール(Eメール)で以下のアドレスにお送りください。

e-mail: jshiqcws@jrc.or.jp

以下の通り、第 14 回 HLA-QC ワークショップに参加致します

1) 参加者情報

重要: 参加内容・部門選択は該当する記号をカッコ内に記入してください(複数可)。

DNA-QC で SSP 法を行う場合、SSP 法に必要な DNA 濃度と量で対応しますので

b.DNA-QC (含 SSP)を選択してください。

・参加内容:() a.DNA-QC, b.DNA-QC (含 SSP), c.抗体 QC, d.集会のみ

・部門選択:() a.輸血部門 b.臓器移植部門, c.造血幹移植部門, d.その他()

代表者名: _____

氏 名: _____

氏 名: _____

氏 名: _____

氏 名: _____

氏 名: _____

氏 名: _____

2) 連絡先情報

実際にサンプル(DNA および抗体)を受取る方の住所・氏名等の送付先ご記入下さい。

(注:QCWS 集会のみの参加の場合もご記入してください。)

住 所: (〒 -) _____

施 設 名: _____

所属部署: _____

氏 名: _____

E-mail : _____ 電 話: _____

具体的な QCWS 実施方法, 結果記入方法, 結果返送方法等の詳細は, 学会ホームページに掲載するとともに, 代表者宛に連絡します。

日本組織適合性学会 QCWS への参加について(説明文書)

目的

日本組織適合性学会では、認定制度委員会 QCWS 部会が担当して、HLA タイピングや抗体検査などの組織適合性関連検査および組織適合性関連検査研究(以下、組織適合性関連検査・研究)に携わる実務者や研究者を対象とし、種々の方法論に基づく検査・研究の技術や精度の維持、向上をはかる目的で、年に1度ずつ QCWS(クオリティコントロールワークショップ)を実施しています。

実施方法と概要

QCWS の実施内容と予定は学会誌や HP 上に公表され、それに対して参加希望者は認定制度委員会 QCWS 部会事務局に参加申し込み(登録)を行います。QCWS 部会事務局では匿名化されたヒト由来試料(DNA および抗体)を参加者(施設)に配布し、それを用いて各参加者がそれぞれの施設で行っている手法による DNA タイピングや抗体検査などの組織適合性関連検査・研究を実施します。一方、QCWS 部会長は参加施設に施設 ID を割り振り、この施設 ID を用いて以後のデータ収集、解析、結果の公表が行われます。各参加者は、得た結果(データ)を施設ごとにまとめてエクセルファイルに入力し、施設名を符号化した上で電子媒体(メールなど)により QCWS 部会事務局に送付します。ついで、QCWS 部会委員が分担してこれらのデータを集計、比較解析し、検査者間の相違のみならず、検査手法の特徴や精度の相違を検討します。さらに、データとその集計・解析結果は電子媒体(CDR など)を用いて、参加施設に配布されます。その後、参加者が一同に会する QCWS 集会において、この検討結果に基づいて参加者全員で討論することで、組織適合性関連検査・研究に関する最新情報を参加者が共有できることとなります。また、QCWS で得られた結果は、集計データとして、個々の参加者が特定されない形式で学会誌(MHC)に公表します。

ヒト由来試料の取り扱いについて

QCWS において配布するヒト由来試料は、市販品ないしバンクなどに寄託され連結不可能匿名化された試料、あるいは抗体検査目的で収集された試料を連結不可能匿名化した上で日本組織適合性学会が入手したものを用います。これらのヒト由来試料は、いずれも連結不可能匿名化されたものであるため試料提供者に不利益を与えることはないと考えられますが、組織適合性関連検査・研究の目的に限って使用するものとし、参加者より「組織適合性関連の検査・研究目的に限って、適正に管理・使用する。他の目的には転用しない」旨の同意書を得ることとします。QCWS 試料を受け取った場合には、検査結果を所定の期日までに QCWS 部会あてに提出してください。検査結果を提出しない場合は、その理由等を記載した理由書(形式自由)を QCWS 部会あてに提出することとします。なお、QCWS における検査後の残存試料の取り扱いについては、これらの試料が多数の施設において種々の方法論で検査されることに鑑みて、組織適合性関連検査・研究の標準試料として使用することが出来るものとなります。

参加者情報の取り扱い

QCWS への参加は参加者の自由意思によるものですが、日本組織適合性学会による組織適合性検査技術者、指導者の認定には QCWS 集会への参加が義務付けられています。参加者の氏名、住所、所属などの情報は QCWS 部会事務局において保管されます。データ提出にあたっては、前述のように参加施設ごとに割り振られた施設 ID を用いますので、どの施設がいかなるデータを提出したのかは、データ解析を担当するデータ解析者にも分からないようになっています。ただし、参加者が同意した場合に限って、解析を行う上で必要な場合には参加施設名が解析者に伝えられ、直接連絡することも可能とします。

知的財産について

QCWSによって得られた結果から特許などの知的財産が派生したとしても、個々の参加者および参加施設には知的財産権は帰属しません。

費用負担について

QCWS および QCWS 集会への参加費として1名 1,000 円を徴収します。ヒト由来試料の配布、集計データの配布にかかる費用は認定制度委員会 QCWS 部会事務局が負担しますが、組織適合性関連検査・研究に要した費用は個々の参加者(施設)の負担とします。

本件に関する問い合わせ先

不明な点があれば下記の QCWS 事務局あてに FAX またメールにて問い合わせてください。

〒105-8521

東京都港区芝大門 1-1-3

日本赤十字社 血液事業本部 中央血液研究所 中央骨髄データセンター

日本組織適合性学会認定制度委員会 QCWS 部会 部会長 田中 秀則

FAX: 03-3437-7745, e-mail: jshiqcws@jrc.or.jp

以上

日本組織適合性学会認定制度委員会 QCWS 部会 構成員(H21.11.1 現在)

田中秀則(部会長), 中島文明(副部会長兼抗体 QC 試料担当), 成瀬妙子(副部会長), 安波道郎(DNA-QC 試料担当), 佐藤 壯(臓器移植), 森島泰雄(造血幹細胞移植), 高 陽淑(輸血), 太田正穂, 木村彰方, 佐田正晴, 橋口裕樹, 山本 賢, 宮崎 孔

日本組織適合性学会 QCWS への参加同意ならびに誓約について(同意誓約書)

私(達)は、日本組織適合性学会 QCWS に参加することに関して、以下のことを十分理解した上で、組織適合性関連検査を実施することに同意します。また、ヒト由来試料の取り扱いについては、これを適正に管理し、目的外使用をしないことを誓約します。(理解した□にチェックを入れてください)

- QCWS への参加は任意であること
- QCWS の目的
- QCWS の実施方法と概要
- QCWS で得られた結果の取り扱いと公表
- QCWS で配布されるヒト由来試料の取り扱い(組織適合性関連検査および研究目的に限って、適正に管理し、使用する。他の目的には転用しない。QCWS 後のヒト由来試料は責任をもって廃棄または標準試料として保管、使用する。)
- QCWS で配布されるヒト由来試料を用いた検査結果を提出すること(提出出来ない場合には、理由書を提出すること)
- QCWS 参加者情報の取り扱い
- QCWS から生じる知的財産権の帰属

平成 年 月 日

・QCWS への参加(参加部門に応じて□にチェックを入れてください)

DNA-QC のみ ・ 抗体 QC のみ ・ DNA-QC と抗体 QC の両方

・データ解析に必要な場合、解析担当者に施設情報を伝える(□にチェックしてください)

: 同意します(必要な場合には解析担当者とは直接コンタクトします)

: 同意しません(解析担当者とは直接コンタクトしません)

施設名: _____

参加代表者(署名): _____

参加者(署名): _____

参加者(署名): _____

参加者(署名): _____

参加者(署名): _____

参加者(署名): _____

参加者(署名): _____

同意誓約書はファックスまたは郵送してください
事務局の住所、ファックス番号は昨年と変わっていますのでご注意ください